

「食農教育」体験活動

平成 15 年 11 月 26 日 (水) 実施

講座コード 231

アラルトコード 10021

第5回報告

ポイントはこちら！育てる！食べる！「食農教育」体験活動（講座コード231）第5回目（最終回）が、11月26日（水）行われました。

シーズンコース（13名、欠席2名）およびオータムコース（3名）の16名の先生は、午前9時から勢多農林高等学校上泉農場で、「秋野菜の収穫」を行い、その後「情報交換会」を行いました。

「情報交換会」には、松本校長先生にもご出席いただき、農業高校での取り組みや参加者の勤務校での実践、栽培に関する相談など情報交換しました。

午後からは会場を勢多農林高等学校へ移し、アラルトコースの7名の先生が加わり、合計23名での実習に汗を流しました。

本年度よりスタートした「食農教育」体験活動。「総合的な学習の時間」で直接生かせるノウハウを講座の中に取り入れ、講座運営してきました。実践報告や情報交換などもう少し時間をかけるべき必要の部分もありましたが、無事講座を終了することができました。食農教育に対するまとめを「学校の経営」No.36で行いますので、ご参照下さい。

日 程

<< 午前 >> (上泉農場)

- 秋まき野菜の収穫とその後の畑の管理について
- 情報交換会（講師：齋藤 裕・立見康明・南雲広美）

<< 午後 >> (勢多農林高等学校)

- 「ダイズとコンニャクを使った加工品の作り方」（講師：木村 剛・松本章夫・品川寿美）



受講者の声

- こんにゃくや豆腐の作り方を始めて知りました。自分で作ったということにとっても感動しました。この感動を子供たちにもぜひ味あわせてあげたいと思います。学校に帰って役に立てたいと思います。ありがとうございました。
- 5回の講座の中で今回は一番楽しみにしていた講座であった。実際に、本などでとうふの作り方やこんにゃくの作り方は目にするが、授業をするには大変不安があったからだ。今回実際にとうふ、こんにゃくの作り方を体験し、次回に実際に授業で生かせたらと思う。ダイズ作りからとうふ作りをやっていたらと思う。
- 5回の講座どれも内容が濃く、勢多農の先生方には感謝でいっぱいです。本当にお世話になりました。今回レポートを持ってくるつもりだったのですが、間に合わず…メールで送りますね。ご恩返しには今後の教育活動にぜひ生かしていくつもりです。ありがとうございました。
- 5回という長い研修でしたが、技術、意欲、農作物…、いろいろなものを持ち帰ることができました。高校の取り組み、他校の取り組みもとても参考になりました。育てていきたいもの“子供の心”があるかぎり、さまざまなことを試みたいと思います。研修で多くのことを教えていただきました。ありがとうございました。
- 改めて勢多農林高校の素晴らしさを実感し、ここで学べたことをありがたく思っています。今後の教育活動の中で、子供たちに還元していけるように頑張りたいと思います。
- 最終日、今日でこの講座も終了です。今まで、大変お世話になりました。栽培は苦手で、実生活でも学校でもかわることが少なかったのですが、逆にそのために今回の講座が新鮮で、新しい発見や気づきもたくさんありました。本当にありがとうございました。
- とても役に立つ講座でした。実際にやってみるということは、本当に理解に結びつくのだと実感しました。今日とうふ、コンニャクづくりは、これからの学習にちょうど使えるので、こんな喜びはありません。自分の手で生み出す喜び、変化する食品への驚きを身をもって体感しました。このような講座をこれからもぜひ続けて欲しいと思います。勢多農林高校の先生方には至れり尽くせりのご指導で本当にお世話になりました。2年続けて受講できると嬉しいです。本当にありがとうございました。
- 食品は作り上げるまでにいくつかの工程を経て食べられるようになることが分かり、子どもに指導したい。
- 実践的に学ぶことができたことが最大の収穫になりました。次年度もぜひこのような企画をお願いします。
- 全く個人的な好奇心からこの研修に申し込みました。初めてのことばかりでしたが、色々なものを家でも育ててみて、「難しいんだなあ、農家の人はすごいなあ」と実感しました。もう少し自分でも色々挑戦してみて分からないことがたくさん出てきたら、またこういう講座に申し込んでみたいと思います。私も、農業高校で三年間くらい勉強したいと思います。5回も本当にありがとうございました。
- 半年間（5回）お世話になりました。食農教育、これからの時代大切なことと思います。食農教育、食育教育を生徒や地域の人々と一体となって取り組んでいきたいと考えています。そうすることが重要になってきていると思います。今回の研修に参加しながら、学校の農園で生徒たちと野菜づくり、ベランダでは花を育てて、校内に置きました。研修で学んだことをできるだけ多くの生徒達に伝えていきたいです。これからの農業高校の在り方、長く考えておりますが、まだはっきりと見えてきていません。いろいろな食・農に関する講座、研修に参加していますが、生徒を中心に教育されている農業高校のカリキュラム、方針は素晴らしいものを感じました。農業高校に勤めている私にとって、学ぶものはとても多かったです。ありがとうございました。
- お世話になりました。土に触れ植物を育てるというのは人間にとって欠かせない大切なことなのだ改めて思いました。私にできる形で、子どもたちに合ったように、こういう経験をさせていきたいと思います。この研修に来ると、何となく安らいだ気持ちになります。ありがとうございました。
- 5回にわたり、大変参考になる研修が多く、有意義であった。この研修がさらに発展することを祈念しております。
- 午前、午後とも大変参考になりました。今回研修させていただいた内容を、児童への指導へとフィードバックできるよう努力し、研究していきたいです。材料、用具等を準備していただきありがとうございました。来年はぜひ5回参加してみたいです。
- 講座で学習したことを、子どもたちにどう還元するかという話し合いも必要かと思えます。
- ※講座担当者もいろいろと勉強になりました。来年度も同様の講座を開催するのですが、今年の課題等を十分検討し、充実した研修にしていきたいです。

